

各位



拝啓 新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

ニュースレターの冒頭に記載させて頂いております卒業生Mさんの大きな大きな成長について、下記に認めさせて頂きます。

彼女は、スマキャンには4年半ほど在籍され、障害者支援施設に利用者としてではなく、一般職員として見事に就職し、スマキャンを卒業されました。その一方で、来所当初は場面緘黙症・社交不安障がいの診断があり、ご自身から言葉を発する事は無く、最初は個別スペースで女性スタッフにて筆談を通じてマンツーマン対応をするなど、ごく静かに過ごしておられました。そんな初期の頃を思い起こしてみると、まさか今のような結果が得られるとは全くもって想像出来ませんでした。

しかしながら、スマキャンでのカリキュラムを受けるにつれ、最初はとても大人しく控えめの方でしたが、同じような境遇にいらっしゃる受講生の皆様との交流も増え、だんだんと自我が芽生えてきたのか、利用して2年程経過した時期にはスタッフと少しずつ喋れるようになり、その後、スマキャンの携帯電話を使ってスタッフと喋る練習をされていました。そうこうしながら、3年が経過した頃には受講生をはじめとした他者とも面と向かって普通に喋れるようになりました。

私もこれまでの経験から、場面緘黙症の方が、その症状を克服し喋れるようになるのはなかなか難しく、困難なケースが圧倒的に多いと考えておりましたが、彼女は見事に完全克服されたと感じています。後になって彼女に、「なぜ、どうやってご自身がしゃべれない状態を克服出来たと思いますか？」と尋ねたところ、「こんな自分の状態はいやだ！とにかく何とか克服したい！！！」という強い思いがあり、それが克服出来た理由だと思えます」と、話してくださいました。克服が難しい方が圧倒的に多い中で、ケースによって違いはあると思いますが、克服するにはまず本人の「克服したい！！！」という強い気持ちが大事なのだという事を私も深く認識させて頂きました。

その後、ご本人はご自身を自ら表現する力をつけられると、対人面や生活面において幾多の課題が見えるようになり、スタッフからも数々の助言を繰り返しておりました。そうこうしているうちに、就職する2か月前位から突如として本人の意識が目に見えて良い方向に変わり、社会人としてあるべき姿・考え方の基礎と、働く者としての心構えがしっかりと整いました。あまりの成長に、私はまた本人に「なぜ、こんな短期間で精神面の急成長を遂げることが出来たと思いますか？」と尋ねたところ、「社会人としてしっかりしたいという気持ちが強く芽生えました」との旨の回答でした。

その間、何がMさんの意識に影響したのかは分かりませんが、Mさんのたゆまぬ努力と、スタッフも惜みない支援や助言を繰り返し、長年Mさんに寄り添ってきた行動が、見事に大きな花が咲いたという結果につながっていったのではないかと予想します。あきらめず、粘り強く取り組んできた、Mさんとスマキャンのスタッフには感服するとともに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。就職して約1か月となり、これから職場での課題も出てくると思いますが、職場定着支援を通じてMさんをしっかりと見守ってまいります。

話は変わりますが、1月18日土曜日 13時より、相談説明会を開催いたします。就職を目指す障がいのある方、何らかの困難を抱えながら社会に出たい方などいらっしゃいましたらぜひともお声がけくだされば幸いです。地元企業への就職だけではなく、東京や大阪・福岡などの会社で在宅テレワーク勤務をしたい方、企業を休職中で復職したい方、中学校卒業を控え進路に悩まれている方、なかなか家から外に出れない方等のテレワーク・在宅訓練も積極的に受け入れさせて頂きます。是非ともお気軽にお問い合わせください。

(同封チラシをご参照願います) (裏面へ続きます)

最後になりますが、本年度が皆様方におかれまして素晴らしい年となりますことを祈念しております。

敬具



令和7年1月吉日  
スマイルキャンパス☆さつませんだい  
代表理事 小園 洋和